

# 日鶏協回覧板

平成 28 年 4 月 20 日

一般社団法人 日本養鶏協会

## 熊本地震について

当協会が現在把握している被災状況（速報ベース）につき、下記の通りお知らせ致します。

県名	採卵鶏羽数	被災状況
熊本県	10 万羽以上	大半の鶏舎が倒壊。水・電気が止まったため飼育継続が困難。当分は休業を考えざるをえない。
熊本県	10 万羽以上	鶏舎は損壊を免れたが、水・餌の供給がダウン。インライン GP 自体の被害はなく卵の出荷は可能だが、道路状況、出荷先店舗の状況等により配送に時間がかかり困難。
熊本県	10 万羽以上	一部の鶏舎が傾いた。オフライン GP で設備が損傷し 3 日間出荷を停止したが、修理により現状稼動し出荷可能。 道路状況により配送に時間がかかるのが問題。
熊本県	1 万羽以上	建物は損壊を免れたものの、給餌、集卵、鶏糞の各装置や GP など全ラインが損傷。水は回復したものの、揺れによりパイプの亀裂が大きくなっている。飼育継続は困難。
熊本県	1 万羽以上	一部の古い鶏舎で基礎のずれ、給餌器の損傷等があるが、人力で修復し営業継続中。一部インライン GP で機械がずれたが自力で修理。道路状況による配送の遅れ、配送先店舗の閉店など問題があるが、何とか出荷を継続中。
大分県	10 万羽以上	鶏舎のコンクリート床にひび割れが発生。飼料タンクが傾き、GP のガラスが落下。営業は継続しているが、修理は空舎後でないと困難。
大分県	1 万羽以上	一部の飼料タンクが傾いたが応急修理をした。
大分県	1 万羽以上	鶏舎の外部には被害は見られないが、自動給餌器ラインが変形し螺旋が脱線して飼料供給に大変苦勞。地震に伴う水位低下で水中ポンプに負荷がかかりブレーカーが度々ダウン。
大分県	1 万羽以上	鶏舎内の給水タンクのフロートバルブが数ヶ所破損。敷地内コンクリート舗装、集卵室内のコンクリート床に亀裂発生。
大分県	1 万羽以上	飼料タンクが傾いた。水・飼料・鶏舎等多少の被害あり。
大分県	1 万羽未満	平飼い育成舎で圧死事例あり。ヒナの出荷先（熊本県）から注文キャンセルあり。

注 1) 会員数：熊本県 7、大分県 10。主に会員の被災事例を抜粋記載。

目立った被害のない生産者もあり。注 2) GP:卵選別包装施設

【日鶏協回覧板】 発行者：一般社団法人 [日本養鶏協会](#)

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目 6 番 1 6 号馬事畜産会館内 (5 階)

TEL : (03) 3297-5515 FAX : (03) 3297-5519 発行日 2016 年 4 月 20 日

編集・発行責任者：島田博(fuwatama@jpa.or.jp)